



第56号

佐倉市臼井地区社会福祉協議会 発行者 八田進 編集 広報事業部

## 4年振り! バス研修実施 スワンエ舎&クロノゲート



羽田クロノゲート

2月15日、社会福祉法人ヤマト自立支援センター「スワンエ舎羽田」の視察研修会が開催されました。この研修は4年前に研修事業部が計画しましたのが新型コロナウイルスの発生で中止となり、改めての開催となりました。

福祉バスは福祉委員総勢26名を乗せて8時にハーモニーホール前を出発しました。途中渋滞があり、「羽田クロノゲート」には10時少し前の到着となりました。

「スワンエ舎羽田」は羽田空港に近いヤマト物流システムの「羽田クロノゲート」の施設内にあり、障がい者の自立と社会参加を運営理念とし、ヤマト

広報担当の方に質問したところ、ヤマトグループの障がい者雇用率は2、85%とのこと、今年4月に改訂される雇用率2、5%（\*）もクリアーできるとのことでした。

グループの制服やシューズなどをクリーニングすることで、実社会へ送り出すための研修を行っています。

午前中はヤマトグループの歴史に続き、「羽田クロノゲート」に運ばれてくる宅配品の仕分けを見学しました。1時間に5万個に近い仕分け能力を持つ設備とその技術力には圧倒されました。



スワンエ舎・クリーニング

昼食はクロノゲート内のレストランで、前菜付のスパゲッティミートソースとソフトドリンクを美味しく頂きました。

午後は、メインとなる「スワンエ舎羽田」の見学。小規模の実習場所でしたが、障がい者による研修作業が行われていました。

管理者の方の説明によると、研修者は近隣の方々と研修期間はおおよそ1年6ヶ月、その間も手当を支給しているとのことでした。研修後の就職先では、研修内容を活かして、それぞれ活躍しているとのことでした。

今回の研修で、ヤマトグループは宅配以外にも多角的に社会貢献している企業グループであることを知ることができました。

研修は14時前に終了し、ハーモニーホールには15時に戻りました。

（広報 但馬）

（\*）企業に義務づける障がい者の雇用率は、現在の2、3%から、今年4月に2、5%と段階的に引き上げられる。（厚生労働省）



スワンエ舎内での研修



シューズクリーニング



昼食タイム

## 令和5年度総括 活動を終えて

臼井地区社会福祉協議会会長 八田 進

令和5年度臼井地区社協の活動は、新型コロナウイルスが昨年5月に第5類に移行されたことにより、コロナ禍以前の活動に戻りつつあります。

福祉委員定例会は年間スケジュール通り実施し、福祉委員が自分の所属部以外の活動状況を理解出来るよう、パワーポイントを使用した会議も取り入れられました。

今年度は臼井地区社協が千葉県社会福祉協議会から「福祉教育推進団体」に指定されたため、これを機に学校に関する活動の一部を見直しました。

まず臼井小・王子台小の児童による「も掘り時」には「こども食堂」の方々にも参加して頂き、掘ったさつまいもを児童から贈呈しました。

また、例年行っている臼井西中1年生と協働での「赤い羽根募金活動」では、推進団体に指定された記念として、1年生全員に「ステーションナリー」を差し上げました。

支えあい事業・愛の手サポートは活動を始めて4年が経過し、令和5年は1,000件を超える実績になりました。

この活動を支えるサポーターの方々の活躍には、大変感謝しております。



友愛訪問ティッシュボックス仕分け

ありがとうございます（おじいちゃん・おばあちゃんありがとうの気持ちを伝えたい事業）は各地域でボランティア活動をしている方々に「感謝状」と記念品を、100歳を迎えた方には「長寿功労者表彰」と記念品を差し上げ、地域の皆さんと一緒に「感謝」と「お祝い」をする活動です。

この活動が始まったときには新型コロナウイルスが蔓延していた時でしたが、4回目の式典もいろいろ工夫をしながら、無事に終了しました。

いきいきサロン事業部（100円喫茶）の活動は、短時間のサロンを再開するなど、いろいろ工夫をしながら4会場で各3回の計12回行いましたが、コロナ禍以前の活動内容にはまだ戻れませんでした。



4年ぶりの救急救命心肺蘇生法講習会

高齢者・障がい者福祉事業部では、ひとり暮らしの昼食会と配食サービスは今年度も中止しました。

高齢者の安否確認を兼ねての友愛訪問は「秋の友愛訪問」「新春友愛訪問」とも、ひとり暮らしの高齢者宅へ「お茶菓子」と「パンフレット」持参で訪問し、声かけと安否確認をしました。

またここ数年コロナ禍で中止になっていた、障がい者施設手園の「千手会フェスタ」が今年度は実施され、福祉委員がボランティア支援をしました。

研修事業部はコロナ禍で中止となっていた「救急救命心肺蘇生法講習」や、障がい者福祉施設を見学する「バス研修」を実施しました。

児童福祉事業部も「親子いもほり会」を開催、約200名の参加がありました。

久しぶりに子どもたちの笑顔を見るのが出来ました。

広報事業部は例年通り広報紙「うすい」を3回発行しました。

地域福祉事業部は夏に「うすいふるさとにぎわい祭り」に出店、恒例の「赤い羽根募金活動」「歳末募金活動」も行うことが出来ました。

令和6年元旦に「能登半島地震」という大災害が起きたことで、地域福祉事業部が中心になり、市社協の募金活動に参加しました。

また1月の臼井地区社協福祉委員定例会では、義援金募金を福祉委員に呼びかけました。当日集まった31,345円は佐倉市社会福祉協議会に届けました。

◆ 令和5年度はコロナ禍以前の活動に戻りつつありましたが、一部の事業部活動は出来ませんでした。

令和6年度は全部の事業部が以前の活動に戻る事が出来るようになって欲しいものです。



愛の手サポート 買物支援&amp;受付



八幡台サロン(R6.1.31) 折り紙教室&amp;野菜販売



# ありがとう事業感謝状贈呈式開催

去る12月9日(土) 令和5年度「おじいちゃん・おばあちゃんありがとうの気持ちを伝えたい事業・感謝状贈呈式」を、本年度も臼井自治会館で開催しました。

当日は臼井地区社協会長から、各自治会・町内会から推薦された受賞者代表者12名の方々に感謝状を贈呈しました。

また、今年の受賞者代表挨拶は長年「こおろぎの輪」で朗読ボランティアをされている山根孝子氏にお願いしました。

山根氏には「ご自身の体験を交えながら、ボランティアを始めたきっかけや活動について、いろいろお話ししていただきました。



式典参加の方々



山根孝子氏



式典の様子

今年の受賞者は全体で48名と少なめでしたが、来年度は新しい対象基準を設ける予定です。

「いずれ年を取ったときにはこんな生き方をしたい」「高齢になっても元気でいてくれてありがと」と周りや若い世代に思われている方々を『生きがいづくり』の達人として、スポットを当てたいと考えています。

詳細については令和6年度の活動が始まり次第、各自治会・町内会へご連絡いたします。

来年度もありがとう事業へのご協力をよろしくお願い致します。

## 愛の手サポートだより



「困った」と思ったら、お電話ください!

愛の手サポートセンター

受付は毎週火曜日・木曜日の  
9時30分～12時です。

043(377)4664

\*活動をお手伝いしてくださる

サポーターも募集中です!

2月4日(日) 令和5年度佐倉市支え合い講演会「ご近所パワー活用術」(高齢者福祉課主催)が志津コミュニティセンター大ホールで開催され、臼井地区社協「愛の手サポート」原田センター長が、パネルディスカッションに参加しました。

この催しは高齢者を支える活動を長く続けている「すずの会」(川崎市)の鈴木恵子氏を講師に迎え、地域が元気になる秘訣について話し合うというものでした。

当日は「井野町一区お助け隊」「ローズクラブ」「愛の手サポート」が、各団体の活動内容や実情、高齢者の抱える問題などを挙げ、支え合いについて様々な意見交換をしました。



## 臼井地区社協 活動報告 令和6年1月～3月



|    |        |              |    |        |                      |
|----|--------|--------------|----|--------|----------------------|
| 1月 | 13日(土) | 第9回理事会       | 2月 | 4日(日)  | ご近所パワー活用術パネルディスカッション |
|    | 16日(火) | 友愛訪問         |    | 14日(水) | うすい荘サロン              |
|    | 18日(木) | 愛の箱回収・集計作業   |    | 15日(木) | バス研修スワン工舎・羽田クロノゲート   |
|    | 20日(土) | 第9回福祉委員定例会   | 3月 | 9日(土)  | 第10回理事会              |
|    | 20日(土) | 救急救命心肺蘇生法講習会 |    | 16日(土) | 第10回福祉委員定例会          |
|    | 31日(水) | 八幡台サロン       |    | 16日(土) | 広報紙「うすい」56号発行        |
|    |        |              |    | 27日(水) | 稲荷台サロン               |
|    |        |              |    | 28日(木) | 3地区合同会議              |

# 令和5年度福祉功労者表彰 12月4日 於：社会福祉センター



以上

- 本年度も社会福祉の発展に功労のあった方々の授賞が決まり、12月4日に社会福祉センターにて授賞式が行われました。臼井地区で受賞された方は次の通りです。(敬称略)
- おめでとうございます。
- ◇特別功労賞 会長表彰後10年  
柴倉紀美代 (稲荷台2丁目)  
佐藤正史 (稲荷台4丁目)
- ◇会長表彰  
役員、評議員、福祉委員8年以上  
高橋勝征 (臼井田)  
中島義人 (臼井田)  
柴田良子 (臼井新町)  
福田 実 (稲荷台4丁目)
- ◇会長感謝状  
福祉活動功績者 (個人)  
永野正子 (稲荷台4丁目)  
福祉活動功績者 (団体)  
琥珀 (和太鼓演奏グループ)

## 愛の箱ご協力 および ご寄附 ありがとうございます



**愛の箱 集計しました**

福祉の心「愛の箱」は、臼井地区社協がいろいろな活動するために使っている「自主財源確保活動」の一環で、地域の皆さんから温かい心を頂いている浄財の箱です。

令和5年度の回収は1月18日に行いました。

本年度は「愛の箱」常備設置(下記参照)の12か所で、合計30、813円の浄財をいただきました。

ご協力ありがとうございました。引き続きご協力をお願いします。

◆

**寄付をいただきました**

また先日は円應寺様から、15、930円、秋元秀雄様から2、000円のご寄附をいただきました。

今後の活動に有効に活用させていただきます。

ありがとうございました。

\*臼井地区社協「愛の箱」設置にご協力いただいている場所は下記のとおりです。(あいうえお順)

- |          |           |            |               |
|----------|-----------|------------|---------------|
| ① 稲荷台郵便局 | ② うすい歯科医院 | ③ 臼井田自治会館  | ④ 臼井郵便局       |
| ⑤ 太田堂    | ⑥ キャロル    | ⑦ サロン野口    | ⑧ スーパータイソ 佐倉店 |
| ⑨ ニッコー会館 | ⑩ 八幡台自治会館 | ⑪ ファミリーマート | ⑫ 丸進クリーニング    |

### \*ご意見はうすいセンターまで\*

「うすいセンター」(臼井・王子台・うすい東地区社協合同事務所)  
臼井地区社協担当日は  
**毎週月曜日・木曜日**  
開館時間・午前9時半～午後4時半  
(12時～1時は昼休憩です)  
住所： 佐倉市王子台1-23  
レイクピアウスイ3階  
電話： 043 (462) 0743  
メールアドレス：  
center-usui@catv296.ne.jp  
ホームページ：  
http://www.catv296.ne.jp/~usui-syakyu/

### うすい景

先日、知人が転倒して大腿骨頸部を骨折しました。手術後2週間退院、即リハビリ病院に転院、3か月ほどで退院しましたが、この後が大変だったそうです。完全回復に至っていない為、玄関、居間の段差解消、浴室、トイレ、廊下の手すりの設置、ベッドの搬入などの安全対策が必要となり、予期せぬ対策に驚いたとか。こんな事は初めてなので、地域包括支援センターに相談して、介護認定の申請、ケアマネジャーの選定などについてアドバイスを受けたそうです。節目節目で福祉に関わる方達のアドバイスを受け、少しずつ落ち着きを取り戻した様で、特にケアマネジャーの方には、いろいろの面で相談、大変助かっていると聞きました。

高齢者の骨折は多く、ケアも大変と言われています。特に、身体的にも心理的にもダメージが大きい様です。

話を聞いて介護の一面を知る事が出来、日頃からもっと介護に関心を持ち、心の準備も必要かなと思いました。何はともあれ健康である事の幸せを実感しました。(宝田)